DX推進していきます!

・事業者、利用者、受益者の 連携や、情報利便性の向上が 狙いの「広島型MaaS」を推進 します。

・遠隔診療車の導入・利活用 検討します。

・要援護者と支援者とのマッチン グサービスや、アプリの利活用に よる多様な支援者との情報共 有等を検討します。

学校教育情報化推進及び教 職員の業務・システム最適化の ための企画・検討に取り組みます。 ・統合型校務支援システムによ る教職員業務の運用改善サイ クルの実現に取り組みます。

・マイナンバーカードと紐づけた 「ペアカード」を活用します。 ·CRM(住民·顧客関係管 理)の利活用により安芸太田 町の認知度と事業者の売上向 上に取り組みます。



SDGsとは国連が2015年に打ち出した2030年までに世界で達成したい「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)の略称です。 国連が世界に呼びかけたことで、日本を含め、多くの国や企業、個人がこのSDGs達成に向けて動き出しています。

AKIOTA 2024 めざす姿

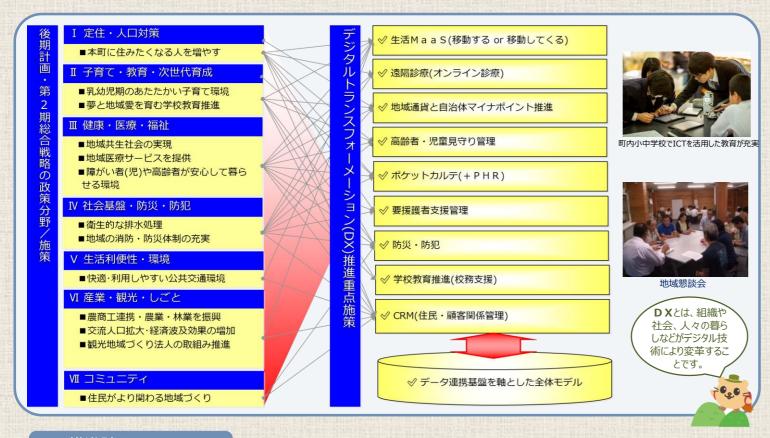
リーディング施策(第2期安芸太田町まち・ひと・しごと創生総合戦略)主要な成果指標

人口の社会増減	H27~R1平均	▲34.6人	R2~R6平均	24人
町内観光消費額	H30	798百万円	R6	1,560百万円
安芸太田町に住み続けたいと思う人の割合	R1	77.2%	R6	80.0%
地域コミュニティ活動の取組に関する満足度スコア	R1	34.5%	R6	50.0%

DXの推進で 達成率の向上を はかります

計画目標人口 令和6年 5,200人

※安芸太田町人口ビジョン【改訂版】より



DX推進計画についてもっと 詳しく知りたいと思った方は

DX推進計画は安芸太田町のホームページにも全文掲載しています。 掲載URL: https://www.akiota.jp/soshiki/5/5936.html

DX推進計画に関する 問い合わせ

安芸太田町役場 企画課 〒731-3810 安芸太田町大字戸河内784-1

TEL: 0826-28-1972 E-Mail: kikaku@town.akiota.lg.jp



安芸太田町DX推進計画

官民データ活用推進計画を包括した安芸太田町DX推進計画(概要版)



官民データ活用推進計画を包括した

安芸太田町DX推進計画概要版

令和4(2022)年度 ▶令和6(2024)年度

第2次長期総合計画及び第2期総合戦略等の成果指標について、社会全体のDX の取組みとともに効率的・効果的に達成させることを目標とし、本町全体として取組むため の官民データ活用推進計画を包括した「安芸太田町DX推進計画」を策定することにしま した。

この計画の実現は、町民の皆様の参画があって初めて成り立ちます。計画の内容をご理 解いただき、まちづくりへの関わり方について、考えるきっかけにしていただければ幸いです。

安芸太田町DX推進計画の構成と期間									
	平成27 (2015年								
長期総合計画基本構想	めざす将来像、まちづくりの視点、将来像を実現するためのまちづくりの基本方向(施策の柱)などを示すものです。		丰間 令和6(2024)年度						
長期総合計画基本計画	基本構想の実現に向け、リーディング施策(まちづくり戦略)、具体的な施策・個別の施策を体系的に示すものです。また後期基本計画では、全ての分野において、新たな社会インフラであるICTやデータを積極的に活用していくこととしています。	5年間 平成27(2015)~ 令和元(2019)年度	5年間 令和2(2020)~ 令和6(2024)年度						
本計画	第2次長期総合計画及び第2期総合戦略等の成果指標について、社会全体のDXの取組みとともに効率的・効果的に達成させることを目標とし、本町のDX推進の基本的な考え方を示すものです。	前期基本計画	後期基本計画 3年間 令和4 (2022) ~ 令和6 (2024) 年度						

デジタル専門人材の活動

▼「デジタル専門人材派遣制度」を用いて設置した「デジタル支援アドバイザー」からの助言も 受け、デジタル行政の実行に向けた現状調査として、安芸太田町役場の各課室において、 デジタル行政の前提となるICT利活用に係るヒアリング等調査を実施してきました。

スケジュール

The same and the s					
年度	令和4	令和5	令和6	令和7以降	
全体	要件確定 実証·検証	一部稼働 実証·検証	段階的拡張	段階的拡張 運営•運用	
(1)自治体の情報システム の標準化・共通化	基本機能 基本計画 全体準備	機能検証 移行計画 BPR準備	実証・検証 BPR 段階的移行	本番稼働 (7年度末)	
(2)マイナンバーカードの 普及促進	カード普及 利用拡張計画 (一部実証)	利用拡大実証 利活用確立期	利活用拡大 EBPMインフラ化	利活用拡大期 地域インフラ目途	
(3)自治体の行政手続の オンライン化	一部要件確定 シミュレーション	要件確定 一部実証	段階的拡張	段階的拡張	
(4)自治体のAI·RPAの 利用推進	企画·検討 (実証·検証)	(実証・検証)	(実証·検証) (段階的拡大)	(段階的拡大)	(
(5)テレワークの推進	要件確定 一部実証	事業モデル確立 段階的拡張		$\longrightarrow \hspace{0.2cm} \rangle$	1
(6)セキュリティ対策の徹底	用件等整理 一部実証	事業モデル確立 PDCA活動		\Longrightarrow	

ヒアリング結果から 導き出された行政事務 事業に取り入れるべき デジタル技術の要素

- 資料の電子・データベース化
- 電子決裁および電子印(公印含)
- マイキープラットフォーム
- TV会議システム
- 電子決済
- 出退勤管理システム
- ドローン
- 無線Wi-Fi
- AIチャットボット
- (ITリテラシー) OCR (Optical Character
- CRM (Citizen/Customer Relationship Management)
- デジタル専門人材とは、 意欲と能力があり、未来 技術を活用した事業を通じ

て地域課題の解決を図る

ことのできる民間人材の

ことです。

Recognition)



安芸太田町イメージ キャラクター『もりみん』

DX推進計画は、人口の社会減抑制のために解決すべき 重要政策課題を支えます

- 1. 人づくり・子育ての支援 地域を担う人材確保・人材育成機会の充実
- 2. 総合的な定住環境の整備 情報発信力の強化と定住をトータルで支援する仕組みづくり
- 3. 地域資源を生かした産業の振興 地域資源を生かした産業振興、雇用環境充実による人材確保と育成
- 4. 健康・医療・福祉の充実 住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせる環境整備
- 5. 自治機能の維持・活用による活性化 協働の地域づくりのため地域活動の支援体制整備

Ⅲ. 各世代にとっての

暮らしやすさの向上

定住促進と人材確保・育成に よるまちづくり基盤の強化



(2)遠隔診療(オン **ライン診療)(I,Ⅲ)**

電子マネー/ポイント

など地域通貨の電子化・

キャッシュレス化を

1枚のカードまたはスマート

フォンで実現し、住民への

ポイント付与もできます。

クラウド管理した「要援護者支

援台帳」をデータ連携基盤と連

携させることで、住民基本台帳

との整合性を確保し、町の職員

やケアマネージャーなど、アカウン

XXXX OOOOPay

Image

1234 5678 9012 3456

重点的・分野横断的な取組み 豊かさあふれ

つながりひろがる 安芸太田

4つのリーディング施策



(1)生活MaaS(移動する or 移動してくる) (I,皿)

MaaS(モビリティ・アズ・ア・サービ

ス)とは、様々な形の交通サービ

スを需要に応じて利用できる1つ

の移動サービスに統合することで

す。また、定額タクシー利用者が

乗車時および降車時にペアカード

をかざすことで、乗降場所や時刻、

メーター料金などの情報を集約・

蓄積し、分析します。

=0<u>.</u>0=

(5)ポケットカルテ (+PHR) (Ⅲ)

自身の生涯の健康・医 療·福祉·介護履歴情報 をクラウドに蓄積・管理でき るサービスで、治療履歴等 を時系列で確認できます。



(4) 高齢者・児童見 守り管理(Ⅲ,Ⅳ)

安芸太田町 DX推進重点 施策

●安芸太田町役場DX推進 重点施策

- (1)生活MaaS
- (2)遠隔診療 (オンライン診療)
- (3)地域通貨と自治体マイナポイント推進
- (4)高齢者・児童見守り管理
- (5)ポケットカルテ (+ PHR)
- (6)要援護者支援管理
- (7)防災・防犯
- (8)学校教育支援(校務支援)
- (9) CRM(住民·顧客関係管理)
- (10)データ連携基盤

安芸太田町を取り巻く環境や時代の潮 流に沿った施策を展開していきます。

●行財政運営

住民福祉の向上に向けて、職員一人ひ とりの資質向上に努めるとともに、行財政 改革を推進し、限られた行財政資源を有 効に活用します。

SDGs

- ·町内NPO法人
- •安芸太田町消防団
- (COS-DEC) 他

オンラインにおける個人認証や 診察券の代用、PHR(パーソ ナルヘルスレコード) とのデータ 連携など、診療や処方にかか るデータ連携の効率化をはかる 検討を行います。



制度のご案内

マ



の O A M 住民

(10)データ 連携基盤

(7)防災·防犯(Ⅲ,Ⅳ

データ連携基盤(共通基

盤) 」としてのCRMエンジン

との相互接続性が確保され

たマイナンバーカード利活用

型の「キャッシュレス」及び「ト

レーサビリティ」(利活用履

歴等データの蓄積・分析に

よるEBPM)の実行が軸と

なるモデル確立に取り組む。

災害時の地域防災拠点 の構築やスマートメーター 等を活用した水道の自 動検針、上下水道施設 の運転監視、道路異常 など、インフラやライフライ

ン異常の早期発見をは

かる什組みを検討します



定額タクシーやスクール バス乗降時、児童の登 下校や病院利用時等、 高齢者や児童の見守り 通知が送れる仕組みを 整え、そのトレースツール としてペアカードの活用を

検討します。

この4つの施策を 行政·各種団体· 町内事業者が同じ 目標に向って一体 で進めていくことが 重要です。

個人及び 各種団体

- ·自治振興会
- ·安芸太田町商工会
- •安芸太田町社会福祉協議会
- ・自治体デジタルトランスフォーメーション協議会

町内事業者



あきおおたから

ふれて、心に残るもの

- (一社) 地域商社あきおおた
- ・町の魅力を発信
- ・インターネット販売 ・地域のブランド化促進 など
- ·町内福祉関連事業者
- •農林業事業者 •観光事業者 他

デジタル町

役場を目

指します

要な機器の導入・整備ととも に、連携した教職員業務の 業務・システム最適化=運 用改善サイクル(教職員業 務のスリム化、教育効果の 創出、安心感の実感)の確 立に取り組みます。

個別最適な学びの充実に必

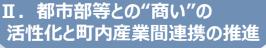
(8)学校教育支援

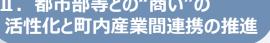
(校務支援)(Ⅰ,Ⅳ)



トごとに権限設定された範囲内 で管理台帳の更新を実現させ ます。また当該の台帳を基盤と して、オンライン個別避難計画 の策定をはかります。







- ■行政手続の原則オンライン化により、来庁不要の行政手続の実現を目指します。 ■ AI·ICT等先端技術を活用し、住民の利便性の高いサービスの提供を目指します。
- ■情報システム標準化、押印の廃止、ペーパーレス化などデジタル化を推進し、 効率化を図ります。
- ■オープンデータを活用し、地域課題の解決を図ります。



(6)要援護者支援 z管理(Ⅲ,IV)

行政と町民・関係団体及び企業が参画する 分野横断型の各種プロジェクトを発足

> 地域に誇りを持つ 人が育つ

自立し、持続可能なまち

ICT技術の 有効活用

住民満足度

の向上

関係人口※の 創出·拡大

好循環促進







IV. コミュニティの活力向上